

A-23 新質問紙健康調査票 The Today Health Index - T.H.I 使用による食生活と健康調査
(第1報) 一学生および有職者の男女別健康状態について—
福山市立女子短大家政 ○三谷璋子 鈴木雅子

目的 今日における栄養の診断は、特殊な欠乏症状の方面から考えることは少なく、栄養上のバランス面からくる多くの型の病理的ストレス・成人病とのかかわりが問題となる。従来、一般的な質問紙健康調査票は、CMIによることが多く、日本人に多少適応しにくい点が指摘されていた。今回は、特に The Today Health Index (以下 THI) を使用して、健康状態の把握を行ない、栄養の問題を考える指針とした。

方法 調査対象者：18～24才の男女学生（男子400名、女子650名）、30～60才の病院関係従事者（男子400名、女子400名）、質問内容：130項目の内容を多愁訴（略号I）、呼吸器（A）、眼と皮膚（B）、口腔と肛門（D）、消化器（C）、直情径行性（H）、虚構性（L）、情緒不安定（J）、拗うつ性（K）、攻撃性（F）、神経質（E）、生活不規則（G）の12尺度群に分類し、その訴え率の尺度得点の \bar{x} 、SDおよびパーセンタイルを計算し、それぞれの特徴を比較検討した。

結果 18～24才の男子で尺度得点の \bar{x} が高い項目は（JXIXGXLXH）で、同女子は（IXJXLXG）（E）であった。30～60才の男子では（IXEXKXJXA）であり、女子は（IXJ）（BXEXL）であった。さらに、標準集団の尺度得点分布と仮定して、50パーセンタイルから相対的位置づけを行ない、東大における値（男子3275名、女子2662名）と比較すると、男子では（DXK）、女子では（I）（B）（CXE）の値が高く、学生においては、男女共（DXCXLXJXKXG）が高く、有職者は、男女共（B）（E）の値が高いという特徴を示した。